

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	建築フィールドワーク (Fieldwork for Architecture)		
ナンバリングコード	L11207	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 基礎レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	1	配当学年 / 開講期	1年 / 前期・後期
必修・選択区分	選択		
授業コード	L120701	クラス名	-
担当教員名	濱永 康仁		
履修上の注意、履修条件	この科目は、別途指定された資格の取得、または1週間(8時間×5日)以上のインターンシップを対象とする認定制科目(履修登録不要)です。便宜上1年次に開講されていますが、教員の指導の下に実施する資格の取得やインターンシップは大学に在籍する4年間のうちの時期において実施しても、それぞれの時期に相応する取り組みにより、有意義な成果を得ることができます。したがって、通常の履修登録による履修ではなく、資格の取得やインターンシップ研修後に提出された合格通知、または日誌や企業等からの所見により成果を評価し単位を認定する「認定制科目」とし		
教科書	とくに指定しません。		
参考文献及び指定図書	参加した資格講座やインターンシップの研修中に、適宜紹介される場合があります。事前研修担当者や企業等担当者の指示に従ってください。		
関連科目	社会参画入門、社会参画実習など、人間育成関連科目のほか、研修内容に関連する科目。		

○授業の目的・概要等							
授業の目的	<p>資格の取得においても、インターンシップにおいても、社会経験と職場体験により、就職に対する意識を高めるとともに、現在の自分ができることとできないこと、今後の自分にとって必要なことを確認し、社会に出るために、大学在学中に身につけおかなければならない能力や知識、技術などを確認します。</p> <p>全学年において、資格の取得が将来の仕事に役立つことは言うまでもありません。</p> <p>また、1, 2年生にとってインターンシップ研修は社会経験の場であり、働くということはどういうことなのかを企業等において実体験することにより、学生と社会人との違いを自分自身の問題として感じ取り自覚し今後の学修に役立てることを目的とします。3, 4年生にとって就職は直面した問題であり、インターンシップは自分の目指す業界や職種を肌で感じてモチベーションを高めるための研修となります。</p>						
授業の概要	<p>この科目は、資格の取得およびインターンシップを対象にしています。</p> <p>「フィールドワーク」は集中講義に分類され、一般の授業とは異なり企業等の都合に合わせて不定期に、ときには複数回をまとめて実施されます。</p> <p>インターンシップで履修する場合、インターンシップを有意義なものとするため、企業における現場実習だけではなく、以下の「授業内容」の通り、事前研修等と合わせて実施します。</p>						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>調査学習</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習等形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	調査学習
(1) 授業の形式	「演習等形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	調査学習						
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	① 社会で働くことの意味を理解し当事者意識をもつことができるようになる。 ② 自分の目指す業界や職種を肌で感じてモチベーションを高める。		5点	15点
【知識・理解】	③ 学生と社会人との違いを自分自身の問題として感じ取り自覚し今後の学修に役立てる。		5点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	④ 日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただくことにより、社会で働くために必要となる能力や知識、技術などを確認する。		50点	5点
【思考・判断・創造】	⑤ インターンシップを通して感じたこと、経験したことを踏まえ、自分が将来どうあるべきか、そのためにはどうするべきかを考える。		15点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
<p>インターンシップ日誌へ毎日の報告を記入し、企業等担当者よりコメントをいただき、報告します。出席状況(全出席が前提)と日誌の内容、企業等担当者による評価、研修報告の内容により成績を評価します。達成水準の目安は以下の通りです。</p> <p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p> <p>事前研修への出席と研修報告を単位認定の条件とします。達成水準の目安は以下の通りです。</p>				
○その他				

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：建築フィールドワーク (Fieldwork for Architecture) 担当教員：濱永 康仁	授業コード：L120701
学修内容		
1. インターンシップガイダンス インターンシップの概要と受け入れ先の企業等に関する説明をします。 ※履修登録は不要です。		
予習：インターンシップについて調査する	(約2.0h)	
復習：ガイダンス復習	(約2.0h)	
2. 企業の選択 インターンシップ先を探します。 企業と学生の希望を照らし合わせ、インターンシップ先を決定します。 ※教務担当で「インターンシップ日誌」等を受け取ります。 ※「課外活動願」に必要事項を記入し、各学科教務委員に署名捺印をもらい、学生支援に提出します。		
予習：インターンシップ希望先の調査	(約2.0h)	
復習：必要事項の確認	(約2.0h)	
3. インターンシップ事前研修1 基本的なマナーから自己分析、業界研究に至るまで、自分の将来を考え、インターンシップをより有効的なものにするための研修です。社会人として身につけるべきマナーについて学ぶとともに、コミュニケーションの方法、実習先の業界に対する研究をします。 ※事前研修を受けないと、インターンシップには参加できません。		
予習：事前研修の内容確認	(約2.0h)	
復習：事前研修の内容把握	(約2.0h)	
4. インターンシップ事前研修2 基本的なマナーから自己分析、業界研究に至るまで、自分の将来を考え、インターンシップをより有効的なものにするための研修です。社会人として身につけるべきマナーについて学ぶとともに、コミュニケーションの方法、実習先の業界に対する研究をします。 ※事前研修を受けないと、インターンシップには参加できません。		
予習：事前研修の内容確認	(約2.0h)	
復習：事前研修の内容把握	(約2.0h)	
5. インターンシップの実施1 実際に企業等に通い、研修を行います。研修中は従業員と同様、その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。研修期間は企業によって異なる場合があります。 1週間(8時間×5日、ただしこのシラバスでは便宜上10週分としてカウントします)以上のインターンシップを対象とし単位を認定します。 ※「インターンシップ誓約書」に必要事項を記入し、企業等担当者に提出して下さい。		
予習：業務内容の確認	(約2.0h)	
復習：日誌および報告書の作成	(約2.0h)	
6. インターンシップの実施2 各企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。		
予習：業務内容の確認	(約2.0h)	
復習：日誌および報告書の作成	(約2.0h)	
7. インターンシップの実施3 各企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。		
予習：業務内容の確認	(約2.0h)	
復習：日誌および報告書の作成	(約2.0h)	
8. インターンシップの実施4 各企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。		
予習：業務内容の確認	(約2.0h)	
復習：日誌および報告書の作成	(約2.0h)	

○授業計画	科目名：建築フィールドワーク (Fieldwork for Architecture) 担当教員：濱永 康仁	授業コード：L120701
学修内容		
9. インターンシップの実施5 各企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。		
予習：業務内容の確認	(約2.0h)	
復習：日誌および報告書の作成	(約2.0h)	
10. インターンシップの実施6 各企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。		
予習：業務内容の確認	(約2.0h)	
復習：日誌および報告書の作成	(約2.0h)	
11. インターンシップの実施7 各企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。		
予習：業務内容の確認	(約2.0h)	
復習：日誌および報告書の作成	(約2.0h)	
12. インターンシップの実施8 各企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。		
予習：業務内容の確認	(約2.0h)	
復習：日誌および報告書の作成	(約2.0h)	
13. インターンシップの実施9 各企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。		
予習：業務内容の確認	(約2.0h)	
復習：日誌および報告書の作成	(約2.0h)	
14. インターンシップの実施10 各企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。 ※「総括レポート」を記入し、企業担当者に「研修指導者からのコメント」をいただきます。		
予習：業務内容の確認	(約2.0h)	
復習：日誌および報告書の作成	(約2.0h)	
15. 研修報告 「インターンシップ日誌」を作成し、インターンシップを通して感じたこと、経験したことを踏まえ、自分が将来どうあるべきか、そのためにはどうすべきかを考え、紹介者および各学科教務委員に報告します。		
予習：研修報告書の作成	(約2.0h)	
復習：研修報告書の修正	(約2.0h)	
16. インターンシップ日誌の提出 ※資格取得で単位を修得する場合は、「課外活動報告書」に「合格通知」のコピーを添付して学生支援に提出します。 ※インターンシップで単位を修得する場合は、「課外活動報告書」に「インターンシップ日誌」を添付して学生支援に提出します。		
予習：		
復習：		